

海外果樹農業情報 No. 158
------------------

2022-5
--------

# 世界の主要果実の生産・貿易概況

## 2022年版

2023年3月

公益財団法人 中央果実協会  
[JAPAN FRUIT ASSOCIATION]

本書の内容について、ご質問やお気づきの点がありましたら、  
下記あてにご連絡下さるようお願いいたします。

**公益財団法人 中央果実協会 情報部**

〒100-0011 千代田区内幸町 1-2-1 日土地内幸町ビル 2階

【電話】 03-6910-2922 (代)

【F A X】 03-6910-2923

## 序 文

果樹農業を取り巻く国際化の進展に伴い、我が国の果樹産業は外国産果実及びその加工品等との競争が激化しており、一方で果実の輸出促進の努力が行われています。

このような我が国の果樹産業を取り巻く環境の変化に対応した関係機関・団体等からの海外果樹関係の情報ニーズの高まりを踏まえ、当協会では農林水産省補助事業「果樹農業生産力増強総合対策」における調査研究等事業の一環として、海外における果実及びその加工品等の生産・流通事情等に関する情報の収集・提供を行うことにより、我が国果樹産業の振興・活性化並びに果実の需給と価格の安定及び輸出の振興に資することとしています。

その取り組みの一つとして、果樹全般についてのFAO(国連食糧農業機関)の生産統計をもとに、世界の果実生産の状況についてデータを取りまとめて刊行してきました。昨年度からはこれに加え、FAOと日本の財務省が公表した貿易統計のデータについて取りまとめることとし、今年度は既に5月に2020年までの貿易統計データを取りまとめて刊行したところです。

この度は2021年までのFAOの生産統計と貿易統計を一括して刊行することとし、また、貿易統計のとりまとめ対象に一部の果実加工品を追加しました。本書のpdf版とExcel版は当協会のウェブサイトに掲載してあります。

本書が関係者の間で世界の果樹事情についてのデータブックとして活用され、我が国果樹産業の国際化対応のために少しでもお役に立てば幸いです。

2023年3月

公益財団法人 中央果実協会  
理事長 村上 秀徳

# 目次

## 序文

世界の生産統計	1
1. 全果実（品目別）	2
2. 全果実（地域・国別）	4
3. 柑橘類計	6
4. オレンジ	8
5. レモン・ライム	10
6. グレープフルーツ（ポメロを含む）	12
7. タンジェリン・マンダリン・クレメンタイン	14
8. その他の柑橘類	16
9. リンゴ	18
10. ナシ	20
11. モモ・ネクタリン	22
12. サクランボ（甘果オウトウ）	24
13. スモモ	26
14. ブドウ（食用及び醸造用）	28
15. カキ	30
16. イチジク	30
17. パインアップル	32
18. クリ	34
19. ブルーベリー	34
20. ラズベリー	36
21. クランベリー	36
22. マンゴー・グアバ・マンゴスチン	38
23. バナナ（プランテインを含まない）	40
24. パパイヤ	42
25. アボカド	44
26. キウイフルーツ	46
世界の貿易統計（輸出）	49
1. 主要果実（品目別）	50
2. オレンジ	52
3. レモン・ライム	54
4. グレープフルーツ（ポメロを含む）	56
5. タンジェリン・マンダリン・クレメンタイン	58
6. リンゴ	60
7. ナシ	62
8. モモ・ネクタリン	64
9. サクランボ（甘果オウトウ）	66
10. スモモ	68
11. ブドウ	70
12. カキ	72
13. パインアップル	74
14. クリ	76
15. ブルーベリー	78
16. クランベリー	80
17. ラズベリー	80
18. マンゴー・グアバ・マンゴスチン	82
19. バナナ（プランテインを含まない）	84
20. パパイヤ	86
21. アボカド	88
22. キウイフルーツ	90
23. 干しブドウ	92

24. パインアップル調製品	94
25. オレンジ果汁	96
26. オレンジ濃縮果汁	98
27. リンゴ果汁	100
28. リンゴ濃縮果汁	102
29. ブドウ果汁	104
世界の貿易統計（輸入）	107
1. 主要果実（品目別）	108
2. オレンジ	110
3. レモン・ライム	112
4. グレープフルーツ（ポメロを含む）	114
5. タンジェリン・マンダリン・クレメンタイン	116
6. リンゴ	118
7. ナシ	120
8. モモ・ネクタリン	122
9. サクランボ（甘果オウトウ）	124
10. スモモ	126
11. ブドウ	128
12. カキ	130
13. パインアップル	132
14. クリ	134
15. ブルーベリー	136
16. クランベリー	138
17. ラズベリー	138
18. マンゴー・グアバ・マンゴスチン	140
19. バナナ（プランテインを含まない）	142
20. パパイア	144
21. アボカド	146
22. キウイフルーツ	148
23. 干しブドウ	150
24. パインアップル調製品	152
25. オレンジ果汁	154
26. オレンジ濃縮果汁	156
27. リンゴ果汁	158
28. リンゴ濃縮果汁	160
29. ブドウ果汁	162

## (ご利用にあたって)

1. 本資料は、国連食糧農業機関(FAO)の統計データベース(FAOSTAT)に掲載されている作物生産統計(<https://www.fao.org/faostat/en/#data/QCL> 2022年12月23日更新)及び貿易統計(<https://www.fao.org/faostat/en/#data/TCL> 2022年12月23日更新)に基づいて作成した。ただし、生産統計の生産量指数は生産量から、貿易統計の単価は貿易額及び貿易量から算出した。  
なお、FAOのデータは、過去のデータも含めて随時見直しが行われるため、閲覧日によって数値が異なることに留意する必要がある。
2. 掲載品目は、世界の生産量または貿易額が大きいものを基本とし、日本の輸出入額を勘案して選定した。
3. 各品目について、FAOSTATの地域区分(「アメリカ」は北米と中南米に分割した)ごとに直近年の生産額または輸出入額の多い国を掲載し、その他の国は省略した。  
生産量または貿易額が2016年から2021年のすべての年で表示単位(千トンまたは百万米ドル)に満たないか同期間のデータが全くない地域は、地域ごと省略した。  
ただし、日本については、以下のように扱った。  
(1) データ(0を除く)があるすべての品目について掲載し、日本より生産量または貿易額の多い他の国を省略した場合は国名を(日本)とし、その行の上に破線を引いた。  
(2) 表示単位で0になるデータは小数点以下の数値を最小限表示した。
4. FAOSTATの生産統計の「全果実」には、果実的野菜であるイチゴ、スイカ、メロンを含み、クリ(ナッツ類に分類されている)を含まない。
5. データは各国の公式データ、FAOの推定値等で構成されているが、それらの区別の表示は省略した。なお、輸出には輸入品の再輸出も含まれている。
6. 視認性を高めるため、右端の列に品目名、地域・国名の全部、一部または略称を記すとともに、表示する果実の種類が多い果実グループ及び国数が多い地域については5行ごとに区切りの横線を入れた。
7. 以下の数字、記号は次の意味で用いた。  
0 : データはあるが、表示単位で四捨五入した値が0である。  
- : データがない。(または計算できない。)
8. 本書のpdf版とExcel版を当協会のウェブサイト(<https://www.japanfruit.jp/research/overseas.html>)に掲載してある。  
ウェブサイトに掲載したExcel版では、表示が0の場合を含め、小数点以下3位までの数値を保っている。

## 海外果樹農業情報 刊行物一覧

No.	調査報告書名	発行年月
96	台湾における日本産果実の流通・消費実態調査報告書	08. 6
97	韓国における主要果実の生産及び輸出入等に関する実態調査報告書	08. 7
98	ドイツ・オランダにおける果実・果実加工品の生産・流通状況調査報告書	09. 2
99	台湾における日本産果実の生産・流通・消費実態調査報告書	09. 6
100	世界の主要果実の生産・貿易概況 2009 年版	09. 11
101	中国におけるポンカンの生産・流通実態調査報告書ー福建省及び浙江省を中心としてー	09. 11
102	米国におけるリンゴの加工品等実態調査報告書	10. 2
103	ロシアにおける日本産果実の販売可能性及び同国の果樹農業・政策基礎調査報告書	10. 7
104	米国連邦行政組織による果実消費拡大に向けた取組みに係る調査報告書	10. 8
105	台湾における日本産果実の流通・消費実態調査報告書	10. 8
106	グローバル化下の米国の果汁産業及び新たな生産流通システム実態調査報告書	10. 8
107	インドにおける日本産果実の販売可能性及びインド産ブドウの対日輸出可能性調査報告書	10. 10
108	カナダの果樹農業・政策実態調査報告書	11. 3
109	米国カリフォルニア州におけるオウトウの生産・流通事情調査報告書	11. 6
110	台湾における果実の生産・流通・消費等実態調査報告書	11. 6
111	中東における日本産果実の販売可能性調査	11. 8
112	ブラジルにおけるオレンジ及びオレンジ果汁を中心とした生産・流通事情調査報告書	11. 9
113	中国の主要都市における日本産果実の販売可能性及び中国のオウトウ産地調査報告書	11. 10
114	世界の主要果実の生産・貿易概況 2012 年版	12. 3
115	台湾における日本産果実の流通状況等実態調査報告書	12. 6
116	中国におけるブドウの生産・流通・消費調査報告書	12. 10
117	韓国の対米国 FTA 締結による韓国果樹産業への影響等調査報告書	12. 11
118	台湾における東日本大震災後の日本産果実等流通状況実態調査報告書	13. 3
119	中国におけるモモの生産・流通・消費調査報告書	13. 3
120	世界の主要果実の生産概況 2013 年版	13. 10
121	台湾における日本産果実の流通状況及び輸入に関連する規制等に係る調査報告書	14. 3
122	世界の主要果実の貿易概況 2013 年版	14. 3
123	世界の主要果実の生産概況 2014 年版	14. 10
124	世界の主要果実の生産概況 2015 年版	15. 3
125	台湾における日本産果実の流通及び輸入促進に向けた諸課題に係る調査	15. 3
126	ニュージーランドの果樹農業及び香港の日本食品・果実事情調査報告書	15. 8
127	海外の果樹産業ニュース 2015 年度版	16. 3
128	台湾における日本産食品の輸入規制強化にともなう日本産果実の流通への影響に係る調査報告書	16. 3
129	海外の果樹産業ニュース 2016 年度上期版	16. 10
130	世界の主要果実の生産概況 2016 年版	17. 2
131	海外の果樹産業ニュース 2016 年度下期版	17. 3
132	台湾における日本産果実の流通状況及び輸入促進に向けた諸課題に係る調査	17. 3
133	海外の果樹産業ニュース 2017 年度上期版	17. 9
134	世界の主要果実の生産概況 2017 年版	18. 2
135	世界の果樹産業ニュース 2017 年度下期版	18. 3
136	台湾における日本産果実の流通・消費の状況及び輸入促進に向けた諸課題に係る調査	18. 3
137	海外の果樹産業ニュース 2018 年度上期版	18. 10
138	世界の主要果実の生産概況 2018 年版	19. 2
139	海外の果樹産業ニュース 2018 年度下期版	19. 3
140	米国ワシントン州のりんご生産の現状と省力・機械化技術に関する調査報告書	19. 3
141	海外の果樹産業ニュース 2019 年度上期版	19. 10
142	欧州及びイタリアの果樹農業の現状とスマート農業に関する調査報告書	20. 3
143	海外の果樹産業ニュース 2019 年度下期版	20. 3
144	世界の主要果実の生産概況 2019 年版	20. 3
145	海外の果樹産業ニュース 2020 年度上期版	20. 9
146	世界の主要果実の生産概況 2020 年版	21. 3
147	海外の果樹産業ニュース 2020 年度下期版	21. 3
148	世界の醸造用ぶどう栽培の動向 気候変動対応と持続可能性の取組	21. 3
149	世界の主要果実の貿易概況 2021 年版	21. 5
150	海外の果樹産業ニュース 2021 年度上期版	21. 9
151	世界の主要果実の生産概況 2021 年版	22. 3
152	海外の果樹産業ニュース 2021 年度下期版	22. 3
153	世界の生食用ぶどう産業 品種動向と栽培流通技術	22. 3
154	世界の主要果実の貿易概況 2022 年版	22. 5
155	海外の果樹産業ニュース 2022 年度上期版	22. 9
156	海外の果樹産業ニュース 2022 年度下期版	23. 3
157	世界のもも産業 生産・消費動向と栽培流通技術	23. 3

